

# こんにちは 家畜保健衛生所です

## 牛異常産ウイルス調査結果について

R7.12.1

家畜保健衛生所では、毎年、農家のみなさまのご協力のもと、異常産ウイルス（ヌカカなどの吸血昆虫が媒介するウイルスの総称）の抗体保有状況を調査しています。

調査協力：10戸21頭の子牛について6、8、9、11月の計4回

調査場所：奈良市・安堵町・宇陀市・天理市・橿原市・五條市・葛城市

調査疾病：アカバネ病、アイノウイルス感染症、チュウザン病



調査成績：9月に5頭、11月に6頭

アイノウイルス、チュウザンウイルスの抗体陽性が確認されました。これらのウイルスが侵入していると考えられます！

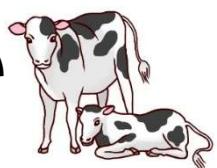


	アイノウイルス 感染症	チュウザン病
発生時期	夏～翌年春	晩秋～翌年春
臨床症状		
	大脳欠損や小脳形成不全	
・流産・早産・死産 ・体形異常（脊柱のわん曲等） ・虚弱、盲目、起立困難 ・神経症状		・体形異常はほとんどなし ・虚弱、盲目、起立困難 ・姿勢の後弓反張等の神経症状

出典：  
農研機構



蚊が発生する初夏前までに  
ワクチン接種（3種混合あるいは4種混合）を行い  
疾病から牛を守りましょう！



早流死産、奇形子牛などの  
異常を発見されましたが  
当所まで御連絡下さい。

家畜保健衛生所業務第一課 0743-59-1700  
家畜保健衛生所業務第二課 0745-62-2440